

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを實現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集（平成 27 年 11 月号）を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

- ・フレキシブル、電子ペーパー、三次元、無機/有機 EL、電界放出、プラズマ、投射型、液晶、CRT などを用いたディスプレイ技術
- ・携帯用、テレビ用、デジタルサイネージ用、高臨場感用などのディスプレイシステム
- ・電子ディスプレイの基礎となる科学・技術全般
- ・ディスプレイ用材料及び部品（タッチパネル等の入力デバイスを含む）
- ・ディスプレイ作製方法、パネル製造・量産装置、測定装置、検査装置
- ・ディスプレイシステムの駆動回路、画像処理技術
- ・ディスプレイに関わる評価技術、人間工学、応用システム

2. 論文の執筆と取扱い

- ・本小特集では、フルペーパーとブリーフペーパーの種別のみ受け付けます。フルペーパーは原則として刷り上がり 8 ページ以内、ブリーフペーパーは 4 ページ以内（厳守）とします。執筆の詳細については、Information for Authors: http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html を御参照下さい。
- ・一般の会議 Proceedings と比べて頁数制限が緩和されています。より一般的な研究者を対象として、詳細な記述になるよう御配慮下さい。
- ・本小特集では原著論文のみ受け付けますので、それを踏まえて原稿作成をお願い致します。（レビュー論文やサーベイ論文は受け付けません）。
- ・採録論文が小特集の予定件数を越えた場合、一般論文として掲載される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・本小特集への論文投稿については、下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal / Section”で [Special+DI] Electronic Displays を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 問合せ先

中田 充

日本放送協会放送技術研究所新機能デバイス研究部

〒157-8510 世田谷区砧 1-10-11

TEL [03] 5494-3256, FAX [03] 5494-3278, E-mail: nakata.m-ji@nhk.or.jp

5. 論文投稿締切日 平成 27 年 2 月 27 日（金）必着

6. 小特集編集委員会

編集委員長 木村 睦（龍谷大）

編集幹事 中田 充（NHK）

編集委員 志賀智一（電通大）、小南裕子（静岡大）、伊達宗和（NTT）、山口雅浩（東工大）、山口留美子（秋田大）、野中亮助（東芝）、新田博幸（ジャパンディスプレイ）、小尻尚志（日本ゼオン）、奥野武志（サムスン日本研究所）

7. 付記

- ・Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。
- ・招待論文を含め論文採録の場合には、掲載料が必要となりますのであらかじめ御了承下さい。
- ・投稿に際しては著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関しては、この限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。
- ・入会の案内は、<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。